PRESS RELEASE
報道関係者各位

2026 年 11 月 6 日
ジット株式会社

【メイプル超合金さん、ダンディ坂野さん、スギちゃんさん、ゴー☆ジャスさんが登壇】

『インクもリサイクルしようプロジェクト発表会』開催レポート

10 月 20 日の「リサイクルの日」にあわせて、応援ゲストの皆さんが“昔の没ネタ”をリサイクル披露

リサイクルインクカートリッジメーカーのジット株式会社（本社：山梨県南アルプス市、代表：石坂 幸太郎）は、「リサイクルの日」にあわせて「インクもリサイクルしようプロジェクト発表会」を 2026 年 10 月 20 日（火）に開催しました。



当日は、ジットとの広告契約 10 周年を迎え、本プロジェクトのアンバサダーに就任したメイプル超合金さんが登壇し、同じ事務所に所属するダンディ坂野さん、スギちゃんさん、ゴー☆ジャスさんも応援ゲストとして登場しました。メイプル超合金のお二人が、普段から意識しているリサイクルやエコの取り組みについて語ったほか、応援ゲストの皆さんが長年活躍するお二人へメッセージを贈りました。

特別企画「ジット＆芸人ヒストリー年表クイズ～ インクもネタも、リサイクルしよう！～」では、登壇者がクイズに回答して会場を盛り上げるとともに、当社の歩みを紹介しました。続いて、応援ゲストの皆さんが“昔の没ネタ”をリサイクルして披露しました。石坂が「リサイクル」か「分別」かの判定も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

■代表取締役社長 石坂幸太郎が本プロジェクトについて説明



冒頭、代表取締役社長の石坂が、ジットの会社概要と本プロジェクトの背景を説明しました。ジットでは、全国から回収した使用済みインクカートリッジを山梨県の本社工場で再生し、国内で販売した後、再び回収する循環型ビジネスモデルを展開しています。また、カートリッジの選別作業は NPO 法人ジット会「たいよう」で行われ、障がいのある方の就労機会の創出にもつながっています。

本プロジェクトについて石坂は、「地球温暖化を背景にさまざまな環境問題が起きる中、使用済みインクカートリッジをゴミとして捨てずに回収する大切さを、一人でも多くの人に伝えることが目的だ」と説明しました。さらに、リサイクルインクを通じて、年賀状をはじめとする日本文化を守り、次世代へ継承していきたいとの思いを語りました。

■メイプル超合金さん、生活や活動の変化を振り返る

続いて、アンバサダーを務めるメイプル超合金のお二人が登壇し、ジットと共に歩んできた 10 年間を振り返りました。

安藤なつさんは、「10 年ということは、10 歳だった人が 20 歳になるということですからね。これだけ長い間アンバサダーを務めさせていただけるのは、なかなかないことです」とコメント。カズレーザーさんも「10 年で生活も変わりました。結婚しましたからね。思い返すと、いろいろあります」と、この 10 年間の変化を振り返りました。

また、安藤なつさんは、車で中央自動車道を通る際にジットの看板を目にするといい、「看板を見た人から『いたよ』と連絡をもらうことがあります」と紹介。看板に大きく写った自身の姿について「不思議な感覚ですね」と話したほか、10 年間という期間について「ジットと共に歩んできた期間は、ほぼコンビ歴と同じですね」などと掛け合い、会場を沸かせました。

普段から意識しているリサイクルやエコな取り組みについて尋ねられると、カズレーザーさんが安藤さんに「エコとは真逆でしょう。暴飲暴食の浪費型社会」と、会場の笑いを誘いました。これに対して安藤さんは、約 20 年間着続けているジャージがあることを紹介。カズレーザーさんも「物持ちは大事です。同じものを長く使うことが一番大切です」と応じた後、「私も番組で使ったコメントを使い回しています。まだ使えるんですから」と“コメントのリサイクル”を持ち出し、会場を盛り上げました。このほか、エコバッグを持ち歩くことなど、日頃心がけている取り組みについて語りました。

■応援ゲストのダンディ坂野さん、スギちゃんさん、ゴー☆ジャスさんも登壇



その後、同じ事務所の先輩芸人であるダンディ坂野さん、スギちゃんさん、ゴー☆ジャスさんが応援ゲストとして登壇しました。ダンディ坂野さんは、朝の情報番組からクイズ番組まで幅広く出演するメイプル超合金さんについて「違うチャンネルにも出ていて、恐ろしいですよ。すばらしい」と活躍ぶりを称賛。ゴー☆ジャスさんは、「売れてから性格が変わったということはない。むしろ、テレビ局でカズを見かけると、僕のほうがあいさつに行くようになりました」と関係性の変化を明かしました。メイプル超合金さんも「先輩は先輩です」と応じるなど、事務所の先輩・後輩ならではの掛け合いで会場を盛り上げました。

■ジット＆芸人ヒストリー年表クイズを実施し、“昔の没ネタ”をリサイクル披露！



続いて、「ジット＆芸人ヒストリー年表クイズ～インクもネタも、リサイクルしよう！～」を実施しました。ジットの設立から現在までの歩みと、メイプル超合金さん、応援ゲストの皆さんの芸人人生を、クイズ形式で振り返りました。

第 1 問では、ジットが 1997 年に世界で初めて開発・商品化した製品を出題。ダンディ坂野さん、スギちゃんさん、ゴー☆ジャスさんは、それぞれ「水ようかん」「わらび餅」「生八つ橋」と回答して笑いを誘いました。正解は、自動ネイルアートマシン「ネイル J」。ネイルアートが専門店でしかできなかった時代に、当時 7 名だった社員が技術も知識もない状態から開発に挑み、商品化を実現したことが紹介されました。

第 2 問では、ジットが 2010 年に国内生産数第 1 位（自社調べ）を獲得した製品を出題しました。3 人は再び「水ようかん」「わらび餅」「生八つ橋」と答えて会場を沸かせましたが、正解は、使用済みの純正インクカートリッジを回収し、クリーニングやインクの再充填を行って再生する「リサイクルインクカートリッジ」でした。

その後、「昔の没ネタも、リサイクルしよう！」と題した特別企画を実施しました。かつて披露していたものの、現在は使われていないネタを応援ゲストの皆さんが披露し、石坂が「リサイクル」か、再び見直しが必要な「分別」かを判定しました。

ダンディ坂野さんは、「ゲッツ！」から派生した野球にまつわるネタを披露。野球好きの石坂から「面白かったので、リサイクルさせていただきます」と判定され、「リサイクル大成功」となりました。スギちゃんさんは、かつて披露していたキャラクターネタに挑戦しましたが、石坂は「私も冷や汗が出ましたので、分別とさせていただきます」と判定。ゴー☆ジャスさんが体を大きく反らした「イナバウアー」を披露すると、会場の反応を受けて「リサイクル」と判定されるなど、芸人の皆さんと石坂の掛け合いで会場は大いに盛り上がりました。





■登壇者がリサイクルへの思いとイベントの感想を語る



イベントの最後には、登壇者の皆さんが、本イベントの感想やリサイクルへの思いを語りました。

ダンディ坂野さんは、「今日は素敵なイベントに呼んでいただき、ありがとうございました。このメンバーでぜひリサイタルをしたいと思います」とコメント。すると、スギちゃんさんの持ちネタを交えたツッコミが入り、「人のネタをリサイクルしないでください」と応じて笑いを誘いました。

スギちゃんさんは、かつてネタで使っていたコーラを捨てずに数カ月間使い続けたというエピソードを紹介し、「リサイクルは大事ですね。リサイクル最高です」とコメントしました。ゴー☆ジャスさんは、「ジット株式会社さんの取り組みに感銘を受けました。インクをリサイクルすると、地球もまだ助かる。まだ助かる、マダガスカル！」と、おなじみのフレーズと地球儀のネタで呼びかけました。

安藤なつさんは、アンバサダー就任 10 周年を迎えたことに感謝し、「車で通るときに見るあの看板を、20 年後も見たいので、ぜひよろしくお願いします」と今後への期待を語りました。カズレーザーさんは、「我々が仕事をいただけるようになった初期から起用していただき、それが 10 年続いたことは本当にありがたく、感慨深いものがあります。次の 10 年、20 年、さらに 100 年先も続く企業であってほしいと思います」と、ジットへメッセージを送りました。

最後に石坂は、「インクカートリッジのリサイクルを通じて地球環境を守ることを、事業の中心に据えています。メイプル超合金さんと出会ってから業績も伸びており、本当にありがたく思っています。これからもリサイクルインクを通じて、地球環境にさらに貢献できるよう取り組み、本プロジェクトを盛り上げていきたいと思います」と締めくくりました。

■ジット株式会社について

リサイクルインク事業をベースに社会に貢献する企業です。
ジットは、社名の由来である「Just In Time」＝世の中が必要とするモノやサービスを必要な時に提供することを目指して 1991 年に創業。以来、今日まで、人様に役立つ仕事とサービスで生かされている命を燃やすという「創業の精神」のもと、何よりも大切な人材育成、社員教育に力を注ぎ、世界に通用するジットブランドの確立に取り組んでいます。また、スピード命の「あったらいいな」を絶対に諦めずに商品化し、地元山梨から世界に夢、元気、勇気、希望を伝え、社会に貢献する企業を目指します。

社名	：ジット株式会社
代表	：代表取締役社長 石坂幸太郎
本社所在地	：〒400-0413 山梨県南アルプス市和泉984-1
URL	：https://www.jit-c.co.jp/
設立年	：1991年7月
資本金	：1億円
社員数	：64名（2026年1月現在）
事業内容	：リサイクルインクカートリッジの製造・販売 / 各種OA機器、文具製品の企画販売

jit
大切にする美しさ